



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

12 / 2017
(通算 691 号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX 075-802-0082 E-mail:kyohogi @ mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ)キョウトフホウシャセンギシカイ

京都賞に出席して思うこと

公益社団法人京都府放射線技師会副会長 原口 隆志

先日、京都国際会館で行われる国際賞である「京都賞授賞式」に出席して来ました。

京都賞とは京セラの創業者である稲森和夫氏が「人のため、世のため役立つことをなすことが、人間として最高の行為である」という人生観のもと、200 億円もの私財を投じ財団を立ち上げ、1984 年に始めた国際賞であり、大隅良典教授や赤崎勇教授、そして山中伸弥教授をはじめ受賞した外国人の 5 名がその後にノーベル賞を受賞しており、非常に評価の高い賞として認識されてきております。そんな敷居の高いイベントに出席するなんて数年前まで考えもしなかったのですが、末っ子の合唱団がセレモニーで出演するとゆうことで親も、つてな感じで招待状を受け取ることとなったのでした。実は今回は 2 回目とゆう事で余裕がありますが、昨年の招待状には正装で、などと記載があったのでタキシードのレンタルを予約しに貸衣装屋探しなどドキドキしておりました。(結局、スーツにハンカチーフでお茶を濁しましたが) そうこうして当日会場では、目に入る方皆さん偉い人? みたいに思いやほり落ち着かないものではありませんでしたが、そこは 2 回目とゆうこともあり、少し気持ちには余裕をもって会場入りを果たし席に着くことが出来ました。

授賞式では、京都市交響楽団の素晴らしい演奏、能の演舞で始まり、開会の挨拶と進み、お言葉として高田宮妃久子殿下の挨拶を頂戴しました。

そして受賞と進み 3 部門の受賞者へメダルが渡されました。今年は技術部門では高電子移動度トランジスタ (HEMT) の発明と開発を行ってきた三村高志博士が受賞されました。受賞の際には三村氏の紹介とともにこのトランジスタの発明・開発で衛星放送、携帯電話、自動車用ミリ波レーダなど広く情報通信技術に極めて大きな貢献をなした紹介がされました。また、他の部門ではオーストラリア、米国の方が受賞され 同様に受賞理由が紹介されたのでした。受賞者の方たちはそれぞれその分野において何十年もの間、発展に寄与し続けたもので紹介された業績において非常に多くの人に役立つものであることがこの賞の理念に沿ったものである事が私にも理解出来、感銘したのでした。

その後祝辞として何と、安倍総理、オーストラリア首相、トランプ米国大統領からの祝辞が読み上げられこの賞が非常に国際的にも認められたものになっていることを改めて認識してしまいました。

そしていよいよ受賞賛歌として娘の参加する合唱団の登場となり、ここでは必死に目で娘を追って活躍を見ておりました。

京都市交響楽団の演奏で無事終了となりましたが、この授賞式に出席し、改めて賞の理念を考えるにあたり、人はコツコツとしていくことが重要なことであり、私たち診療放射線技師も日々の診療に於いて、多くの診断画像の提供や治療を行っており、また機器の進歩に伴って自己研鑽を続けることは、この貢献度までではないにしても、これも「人(府民)のため、世のために役立つことをなすこと」を実践しているのだと改めて思い、会員の皆さまには引き続き日々の安心・安全な検査の提供、業務レベルの向上に努めていく為にも、技師会として交流の機会や、研修会などが参加・活用できるよう活動すべく頑張っていきたいと思っています。

今年度も、これから 1 月には統一講習会や 2 月に学術大会、3 月には学遊会が開催予定となっています。会員の皆様におかれましては是非とも参加していただきたいと期待していますので宜しくお願い致します。

また、こんな機会が貰えるとは家族にも感謝しつつ、日々の業務に取り組んでいこうと、改めて自分に言い聞かせたところでもあります。さらに、皆さんと共に成長していきたいと思っていますので宜しくお願いいたします。

平成 30・31 年度会長・副会長選挙の告示

平成 29 年 12 月 1 日

会員各位

公益社団法人 京都府放射線技師会 選挙管理委員会
委員長 澤田 保雄

1. 平成 30・31 年度役員選挙に関する告示により届け出のあったのは、以下の通りです。

(1) 有権者 20 名以上の推薦する候補者 なし

(2) 理事会の推薦する候補者

① 会長候補者 河本 勲則 昭和 34 年 7 月 24 日生

*勤務先 京都第二赤十字病院

*会務歴

I) 平成 10 年度 ~ 平成 11 年度まで 地区理事

II) 平成 12 年度 ~ 平成 17 年度まで 編集常務理事

III) 平成 18 年度 ~ 平成 27 年度まで 副会長

IV) 平成 28 年度 ~ 平成 29 年度 会長

② 副会長候補者 久保田 裕一 昭和 44 年 9 月 23 日生

*勤務先 関西医科大学附属病院

*会務歴

I) 平成 10 年度 ~ 平成 13 年度まで 地区理事

II) 平成 16 年度 ~ 平成 27 年度まで 組織調査常務理事

III) 平成 28 年度 ~ 平成 29 年度 副会長

2. 候補者がそれぞれ単独であるため、役員選挙規定第 2 章、第 10 条により信任投票とします。

上記の候補者について、下記の要領に従って期日までに全会員漏れなく投票して下さい。

記

(1) 指定投票用紙（本誌 12 月号ニュース同封のハガキ）で必ず投票して下さい。

(2) 投票欄に信任：○印、不信任：×印のいずれかを記入して下さい。

(3) 投票は無記名です。

(4) 所定以外の用紙による投票は無効とします。

(5) 投票締切日は平成 29 年 12 月 31 日(日) 必着とします。

以上

次期会長候補者及び次期副会長候補者の推薦について

公益社団法人 京都府放射線技師会理事会

次期会長候補者・副会長候補者は、京都府放射線技師会の会務を熟知しており、毎月のように行われる生涯教育・研修会・認定試験等の様々な事業に精力的に取り組んでいる。公益社団法人設立を目標に掲げ、行政との度重なる折衝を経て取得した。また、2015年に京都で開催された日本診療放射線技師学術大会では実行委員の中心メンバーとして、登録者数過去最高を記録するなど成功裏に導いた。

会長・副会長に就任した二年間では、診療放射線技師法の一部改正に伴う、統一講習会の開催数を増やし実施した。また京都府の立入監査に早い時期から対策を講じ全員体制を敷くことで指摘事項を最小限にとどめた。さらに、原子力災害を想定した総合防災訓練等に技師会の公益性を発揮するため積極的に関わってきた。これらの難しい事業を推進してきた実績は顕著である。

河本 勲則氏は平成 10 年度から 11 年度まで地区理事、平成 12 年度から 17 年度まで編集理事、平成 18 年度から 27 年度まで副会長、平成 28 年度から会長職を歴任。その役歴・活動内容は枚挙にいとまが無い。優れた指導力・思考力を兼ね備え、人物としても明朗である。本会の会長職として京都府放射線技師会のさらなる発展を託せる人物である。

久保田 裕一氏は平成 10 年度から 13 年度まで地区理事、平成 16 年度から 27 年度まで組織調査理事、平成 28 年度から副会長を歴任し、その責務を十二分に果たされ、人柄は誠実である。会長の補佐役、相談役として緻密さも兼ね備え副会長を託せる人物である。

今後、会のより一層の発展に全力で望んで頂けるものと確信し、理事会一同は満場一致で、次期会長候補者に河本 勲則氏・次期副会長候補者に久保田 裕一氏を推薦する。

理事会推薦をお受けして

平成 29 年 10 月 河本 勲則

この度、理事会からご推薦をいただき会長に立候補いたします、京都第二赤十字病院河本勲則と申します。平成 28 年度から会長に就任し、早 2 年が経過しました。この 2 年間は、轟前会長から引き継ぎました事業推進を主に遂行し、さらに、業務拡大に伴う統一講習会の開催、大規模災害防災訓練への参加を積極的に行いました。また、診療放射線技師の業務内容や技師会活動への理解を求めて、京都府福祉部や京都市保健局に何度も訪問いたしました。会長就任より副会長、各理事の協力と信頼、そして会員の皆様のご理解とご支援で未熟な私を支えていただきましたからこそ、ここまで来れたと心から感謝申し上げます。

次期会長として遂行したいのは、京都府会員 250 名が受講しました業務拡大に伴う統一講習会の会員受講率 100%を目指して開催したいと思います。

診療放射線技師を取り巻くいろいろな問題や課題（読影の補助、診療報酬に繋がる業務内容の見直し、放射線被ばく管理と適正化、実習指導者の教育等）の改善に取り組み、診療放射線技師がチーム医療の一員として府民に信頼され、確立した仕事を行える環境の構築を目標に活動したいと思います。

公益社団法人京都府放射線技師会のさらなる発展と診療放射線技師の地位向上に微力な私ではございますが、誠心誠意の思いで取り組みたいと存じます。会員の皆様のご支援とご理解を何とぞお願い申し上げます。

副会長（副代表理事）候補を受けて

久保田 裕一

この度、公益社団法人京都府放射線技師会の理事会において、副会長候補者としてご推薦をいただきました関西医科大学附属病院の久保田裕一です。平成 28 年度に副会長に就任してから 1 期 2 年の任期を務めてきました。大変な重責を身を感じながら、2 年前に河本会長と共に歩み始め、京都府放射線技師会の伝統ある事業の推進を主軸に活動を行ってまいりました。さらには、河本会長が積極的に取り組まれています「業務拡大に伴う統一講習会」は、京都市外開催も含め、多くの会員の皆様が受講出来る環境作りを原口副会長と後藤理事が中心となり活動を行っています。京都府放射線技師会は河本会長が舵取りを行い、各理事が中心となって多くの事業を展開してきました。この間、私自身が会長の補佐役を務められたのかと自問すると、出来たと言える自信はありません。ですが、この 2 年間に多くの会員の皆様と出会う機会に恵まれました。これは私にとって大変貴重な時間をいただけたと自信を持って言えます。あらためて技師会は人との繋がりなのだと教えられました。私たちは皆、同じ免許を持っています。仕事内容や業務環境や世代はそれぞれ違いますが、我々は診療放射線技師です。私たちは、未来の診療放射線技師へバトンを繋いでいかなければなりません。それをより価値のあるバトンに育むこと、それを出来るのがこの技師会だと信じています。そのお手伝いをさせて下さい。来年、京都府放射線技師会は創立 70 周年を迎えます。70 年の伝統を大切に守りながら今をしっかりと見極めなければなりません。2 年前と同じ言葉ですが、国民から認められる診療放射線技師の未来、会員の皆様から信頼される会の発展へ真摯に取り組みたいと思っております。よろしくお祈りいたします。

勤続 50 年表彰を受賞して

久保 昌博

昭和 41 年 4 月京都大学に奉職、平成 18 年 3 月定年退職、民間医院に再就職して 10 余年、一口に 50 年、半世紀と言われても実感が湧いてこないのが事実です。

この 50 年を振り返ると、日進月歩の X 線機器、CT、MR、画像のデジタル化等々、遅れまいと一生懸命頑張ってきたつもりであるが…。また、日本放射線技術学会、京都府放射線技師会、全国国立大学放射線技師会において役職を経験し、先輩諸先生方に技師としての心構え、基本の大切さ等いろいろなことをご教授いただき現在まで大いに役立っています。

この 50 年特に印象に残っていることとして第 1 に京都大学で行われた最初の「生体肝移植」である。当時私は手術室担当で、術中の緊張感、チームワーク等を直接感じさせて頂き、術後の X 線写真を撮ったのは日付が変わった 1 時頃でした。他職種の職員との会話もでき、職場での親密感が一層強くなりました。第 2 は「京都マンモグラフィ研究会」を設立したことです。当時認定試験が始まる前で、今から思うと、すごくタイミングのよい時だったと思っています。私にとってマンモに没頭した月日でした。研究会は現在も盛会に開催されており創設者として今後の活躍を大いに期待しています。

縁あって出会った多くの人との出会いが私の人生を変えるターニングポイントになったことに間違いありません。お世話になった先輩諸先生方のお陰で無事 50 年勤めることができましたことに感謝いたします。最後に推薦頂きました京都府放射線技師会の河本会長始め役員の方々にお礼申し上げます。



函館での学術大会にて、日放技中澤会長より表彰される久保会員

両丹地区秋季研修会報告

両丹地区理事 小川 武

平成 29 年 11 月 1 日(水) に綾部市立病院にて両丹地区秋季研修会を開催しました。

内容は MRI、CT、RI に関する 3 演題の発表でした。

MRI による臨床画像を用いた所見の提示および撮影ポイントに関する検討、最適な CT コロナリー画像を提供するためのデータ解析から撮影条件を決定する研究内容、RI 画像に関して表示方法の違いについての検討など、大変興味深い内容であり 34 名の参加にて盛況に終了しました。

婦人科 MR の 3 症例

舞鶴共済病院 池田 雄士

前置胎盤は癒着胎盤を合併する可能性が高く、大量出血などを起こすリスクがあり分娩前の画像診断が重要となる。今回の前置胎盤の症例では T2 強調画像にて胎盤内に低信号帯 (T2 Dark band) を認め癒着胎盤を疑ったが、true-fisp の画像により低信号帯は血管を見ていると考えられ、癒着胎盤の可能性は低いと診断がついた。癒着胎盤の診断に true-fisp の画像が非常に有用となった症例であった。

二つ目の症例では腹腔内播種によるサインでいわゆる大網ケーキ(omental cake sign)を認めたものである。検査画像上大網は脂肪吸収値とほぼ同じで同定することができないが、炎症や播種をきたすとパンケーキのような板状の腫瘍となって認められる。卵巣癌を疑ったが MR、CT でも原発巣を認めることができず、正常大卵巣癌症候群(Normal-sized ovary carcinoma syndrome)ではないかと疑われた。

三つ目の症例では典型的なステンドグラス様の多房性腫瘍で一部充実部分を含む境界悪性腫瘍で隔壁と充実部分には強い造影効果が得られた。卵巣腫瘍は組織型により表層上皮性、間質性、胚細胞性などに分けられたり、良性と悪性の間に境界悪性と特殊な分類が含まれ、また充実性や嚢胞性であったりと多種類の腫瘍が存在する。上記のいずれの症例も MR 画像上病変を示唆するサインを呈しており、このようなサインを事前から認識しておくことも画像を読み解いて検査していく上で重要だと再認識した。

冠動脈 CT における、テストインジェクション法を用いた、画像評価の予測の検討

京都府立医科大学附属 北部医療センター 後藤 宏成

<背景>当院では、冠動脈 CTA の撮影は TI 法を採用している。当院で採用している撮影開始時間では、タイミングが合わない例や、冠動脈の CT 値が低い例が存在した。TI 法の TDC を解析することで、事前に撮影がうまくいくか知ることが出来ないか検討してみた。

<方法> ① 同条件で撮影した 235 名の冠動脈 CT の画像評価を行った。② TDC の項目と画像評価で ROC 曲線を求めた。③ ROC 曲線の信頼度の高い項目と画像評価とで散布図を作成した。

<結果>画像評価は検査成功 85%程度で、TDC から画像評価を予測するうえで信頼度の高い項目は Peak HU at Pa と Delay time Pa→Ao であった。それぞれのカットオフ値は 253HU と 8.2 秒だった。画像評価の散布図で共にカットオフ値以上の領域は、検査成功率が 93%と高く、両方ともカットオフ値に満たない領域では、検査成功率が 21%と低かった。

<考察>カットオフ値を設けることで、画像評価を予測できる可能性があると思われる。冠動脈 CT の検査で事前に画像評価が予測できることは、大きな意味があり、TDC からの情報で造影剤量や撮像タイミングを変更できるので、非常に有用である。

核医学画像！どう作りこめばいいの？

市立福知山市民病院 糸井 良仁

事は、新しく赴任された循環器 Dr.からの「もう少し見易くならない？」のメッセージでした。心筋 SPECT 画像をこれまで通り提供していましたが、どうしたものかと。とにかく、Dr.と画像を見ながら検討したところ、問題は画像表示 Look Up Table (LUT) が違ったことでした。(簡単に言うと、画像表示のカラースケールが違う。) そのため読影しづらいとのこと。ではということで、LUT を変えてみましたが、これが意外と難しい。よく似た LUT があるものの、全く同じではない(メーカーに確認したところその様です)ため少し印象が違うようです。この他にも Washout Rate の Polar Map 表示の上限値の変更、TL・PYP 同時収集の重ね合わせ画像の表示色についてなど、表示する色 = LUT が診断に影響すること。施設間で表示 LUT や表示法が違うので困る Dr.がいること等。改めて、核医学画像はグレースケール表示もするもののカラースケール表示が多いことを再認識した経験でした。

第 44 回くらしと健康展報告

広報・渉外委員会理事 新井 喬

10 月 29 日(日)の午前 10:00 ~ 午後 4:00 に京都府医師会館において、「第 44 回くらしと健康展」が開催されました。前回の反省点も考慮して、来場者数を増加させるために逆算から入場予約券を多めに配布しましたが、当日は台風による大雨風の影響のため来場者はかなり減少しました。

屋外は相当の雨風の中、健康展は滞りなく遂行することができました。

総来場者数は、総計 542 名(前回より 214 名減少)となり、当コーナーも総計 48 名(36 名減少)の来場者となりましたが、当コーナーへの来場者の総来場者に対する割合は例年どおりでした。

今回は、放射線相談コーナーへの来場者数が少ないこともあり、一件あたりの相談時間が最低で 30 分で 1 時間以上も要することもありました。そのため、担当者の対応する総時間数もかなり増加しました。また、福島原発事故の心配から、食材の放射能測定の間い合わせもありました。参加型イベントができない当コーナーとしては一定の支持を得ていると思います。

私たちが、被ばくに関する客観的なデータと医療における放射線利用の安全性と有益性、技術の高度化と専門性を一般の方々に対して啓発し、その業務に携わる診療放射線技師という名称および職務内容と職能を少しでも認識してもらえる機会であったと思います。

最後に、健康展に協力して頂いた関係者や会員の皆さまには御礼申し上げます。



一般市民の質問に答える管理士委員。病院での多数の被ばくを心配する声も聞かれた。

第 7 回理事会報告

平成 29 年 11 月 11 日

議長に大西理事、書記に松本理事を選任し午後 4 時半より議事開始

I. 経過報告及び計画に関する件**1) 経過報告および計画 河本会長**

- (経過報告)
- 10月14日 京都府原子力災害時医療講習会(総合)
(綾部市立病院)
 - 10月15日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会野球大会雨天中止
京都府原子力災害時医療講習会(除染)(綾部公民館)
 - 10月23日 東地区委員会(京大病院放射線部会議室)
 - 10月27日 平成29年度中間監査(京放技事務所)
 - 南地区委員会(京都医療センター)
 - 10月29日 基礎技術講習「CT検査」(京都府立医科大学看護学舎)
 - 第44回くらしと健康展(京都府医師会館)
 - 11月2日 京都府原子力総合防災訓練第3回会議
(綾部市中央公民館)
 - 11月3日 大阪府放射線技師会学術大会(大阪ベイトワートホテル)
 - 11月11日 平成29年度第7回理事会(京放技会議室)
 - (計画)
 - 11月12日 京都府原子力総合防災訓練(綾部市中央公民館)
 - 11月17日 京都私立病院協会記念式典(京都ホテルオークラ)
 - 11月18日 奈良県放射線技師会創立65周年記念式典・祝賀会
(ホテル日航奈良)
 - 11月19日 市民公開シンポジウム日本放射線技術学会
(メルパルク京都)
 - 11月22日 府民公開講座打合せ(京都ホテルオークラ)
 - 11月23日 京都地域創生フェスタ(京都府立植物園)
 - 11月26日 関西広域連合原子力災害医療サーベイ研修会
(大阪グランフロント)
 - 12月2日 京放技第8回理事会(京放技会議室)
 - 12月6日 被ばく医療講演会⑨(京都大学臨床講堂)
 - 12月17日 日放技教育委員会幹事会(日放技会議室)
 - 12月23・24日 災害支援診療放射線技師研修会(日放技研修会室)
- 平成30年
- 1月6日 京放技第9回理事会(京放技会議室)
 - 1月7・8日 業務拡大に伴う統一講習会
(京都第二赤十字病院大会議室)
 - 1月21日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会囲碁大会
(兵庫県県民会館)
 - 2月4日 京都府放射線技師会学術大会・府民公開講座
(京都ホテルオークラ)
 - 2月9日 京放技第10回理事会(京放技会議室)
 - 2月10日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会第2回会長会議
(西神オリエンタルホテル)
 - 2月11日 平成29年度近畿地域診療放射線技師会学術大会
(神戸大学医学部附属病院)
 - 3月10日 京放技第11回理事会(京放技事務所)
 - 3月25日 京放技学遊会(友愛の丘)
 - 4月7日 期末監査(京放技事務所)
 - 4月14日 平成30年度京放技第1回理事会(京放技会議室)

2) 各委員会報告及び計画**【庶務】血谷理事**

- ・会員数 10月31日現在548名(先月+3)
- (内訳) 名誉会員5名、正会員518名、賛助会員25社
新入会4名、転出1名
※平成29年度新入会累計20名(再入会1名含む)
- ・10月1・2・17・20・23・26・30日 委員会開催(京放技事務所)
- ・対外文書70件、発刊文書5件(10月1~31日)
- ・新卒入会2名の承認。

【財務】渡里理事

- ・会費納入状況(平成29年10月末日現在)
平成29年度会費納入者424名(82%)
平成28年度会費未納者9名(2%)
- ・会費49.5万円入金
- ・10月3・5・26・30日 委員会開催(京放技事務所)

【学術】後藤理事(原口副会長代読)

- ・10月29日 基礎講習CT検査開催(京都府立医科大学看護学舎)
参加者76名(8名欠席)
- ・11月2日 府民公開講座講師と打ち合わせ
- ・12月 学術委員会開催予定
- ・1月7・8日 業務拡大に伴う統一講習会(京都第二赤十字病院)
- ・2月4日 学術大会&府民公開講座(京都ホテルオークラ)
- ・2月11日 近畿地域診療放射線技師学術大会
(神戸大学医学部附属病院)

【編集】中島理事

- ・10月25日 11月号ニュース校了
- ・10月29日 くらしと健康展出務(京都府医師会館)
- ・11月12日 京都府原子力防災訓練参加予定(綾部市中央公民館)
- ・11月15日 12月号ニュース編集予定

【広報・渉外】新井理事

- ・10月28日 「第44回くらしと健康展」準備・設営(京都府医師会館)
- ・10月29日 「第44回くらしと健康展」出務・撤収(京都府医師会館)
出務者4名(新井、中島、安藤、山根)
- ・10月31日 京都市福祉ボランティアセンターへ府民公開講座の広報依頼について訪問
- ・11月8日 「第44回くらしと健康展反省会」開催
(京都府医師会館)
- ・「無資格者による診療放射線技師業務の防止に関する要望」(平成29年度)作製予定
- ・府民公開講座の一般向け用のチラシ・ポスターの作製

【組織調査】蒲理事

- ・10月17日 「統一講習会」アンケート、ホームページ掲載依頼
- ・10月20日 組織調査委員会 アンケート発送作業
- ・10月23日 東地区委員会 参加
- ・10月27日 南地区委員会 参加
- ・10月29日 基礎技術講習会「CT検査」参加及びアンケート実施
- ・11月15日 第2回北地区委員会出席(京都府立医大病院)

【厚生】中川稔章理事

- ・10月14日 近畿地域技師会野球大会中止連絡その他
- ・1月21日 近畿地域放射線技師会囲碁大会参加予定
(兵庫県県民会館)
- ・2月4日 京都府放射線技師会 新春の集い(京都ホテルオークラ)

【情報】大西理事

- ・10月16日 ホームページ掲載予定のアンケート案作成
- ・10月23日 東地区委員会に参加
- ・10月24日 ホームページ掲載予定のアンケート作成
- ・10月27日 南地区委員会に参加
- ・10月28日 ホームページのトップページを更新
- ・10月29日 CT基礎技術講習会に参加
- ・11月2日 学術委員会(市民公開講座の打合せ)に参加
- ・11月8日 ホームページのトップページを更新
- ・11月9日 ホームページのトップページを更新

【管理士】山根理事

- ・10月14日 京都府原子力災害時医療講習会(総合)参加
(綾部市立病院)
- ・10月15日 京都府原子力災害時医療講習会(避難退域時検査・簡易除染)参加
(綾部市中央公民館)
- ・10月29日 くらしと健康展出席(京都府医師会館)
- ・10月31日・11月1日 原子力災害時の医療に係る研修講師育成講座受講(東京都八王子市)
- ・11月2日 第3回京都府原子力防災訓練会議出席
(綾部市中央公民館)
- ・11月12日 京都府原子力総合防災訓練参加予定
(綾部市中央公民館)

【両丹学術】橋岡理事

- ・11月1日 平成29年度両丹地区秋季研修会(綾部市立病院)
- ・地区委員会開催
- ・11~12月 京都府北部在技師の統一講習会参加の調査

【受賞者選考委員会】河本会長

- ・30年勤続表彰者の履歴書を回収している。

II. 地区経過報告及び計画に関する件**1) 【北地区】丹後理事**

- ・10月16日 学術大会の案内
- ・10月18日 平成29年度第2回北地区委員会開催の日程調整
- ・10月20日 計報連絡
- ・10月29日 基礎技術講習会「CT検査」北地区より数名参加
- ・10月30日 研修会の案内、計報連絡
- ・11月6日 平成29年度第2回北地区委員会開催日の決定
- ・11月15日 平成29年度第2回北地区委員会開催
(京都府立医科大学附属病院)

2) 【中地区】楢理事(血谷庶務理事代読)

- ・10月7~8日 業務拡大に伴う統一講習会(参加者2名)
- ・10月19日 中間監査準備
- ・10月20日 計報連絡
- ・10月26日 地区移動会員の連絡
- ・10月26~28日 京都府放射線技師会学術大会発表演題について地区委員に打診
- ・10月27日 中間監査出務
計報連絡(事後)
- ・10月29日 基礎講習会「CT検査」参加者1名
- ・10月30日 原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会の案内を地区委員に配信

3) 【東地区】中川政幸理事

- ・10月23日 東地区委員会開催(京大病院放射線部会議室)
- ・2月4日 京都府放射線技師会学術大会終了後、東地区委員会開催予定

4) 【西地区】平井理事(血谷庶務理事代読)

- ・10月16日 地区連絡網に直し

- ・ 10 月 16～20 日 京放技学術大会地区演題を メール・電話連絡での調整
- ・ 10 月 30 日 地区メールにて「訃報連絡」配信
- 5) 【南地区】若畑理事
- ・ 10 月 27 日 第 2 回南地区委員会開催 (京都医療センター)
- 6) 【両丹地区】小川理事 (橋岡理事代読)
- ・ 11 月 1 日 両丹地区秋季研修会開催 (34 名参加) (綾部市立病院)
- ・ 第 3 回地区委員会開催 (綾部市立病院)
- 7) 【西南部地区】松本理事
- ・ 10 月 20 日 訃報連絡をメールにて送信
- ・ 10 月 27 日 訃報連絡をメールにて送信

III. その他

1. 総会の日程 (河本会長)

財務委員会としては資料 (決算等) 作成に時間がかかるので、5 月をお願いしたいとのこと。ゴールデンウィーク最終日の 5 月 6 日 (日) が妥当かと考えている。研修会も同日開催予定。今までは総会資料を少なくするように努力していたが、京都府からの指導等を鑑みると、やはり、きちんとした資料を用意すべきだという結論になったので、次回総会では資料が多くなります。ご了承ください。

2. 全国私立大学病院技師長会の後援 (久保田副会長)

毎年 6 月に診療学術講演会を開催している。来年も 6 月 22 日に開催される。久保田が世話役で特別講演として日放技児玉理事に講演してもらおう予定。この後援として毎年、大阪府放射線技師会と兵庫県放射線技師会が参加しているが、久保田が世話役なので今回は京放技も後援として参加してはどうかとの提案を承認。

以上、各議案について採択し承認された。 (文責：松本)

編集後記

年末が近い。病院勤務だと年末でも業務に変化はあまりないが、勤務体制に頭を悩ませている管理職も多いことだろう。しかし世間に目を向けると、役所は休みだが、警察や消防は忙しくなる期間でもある。交通機関や小売業もそうだ。通常より人員を増やさないといけない。そう考えると通常より少数の配置で済む医療業界は優遇されていると思う。人員配置を担当されている方はそう考えればいくらかストレスもなくなるのではなかろうか。僭越ながら私からの進言である。 編集委員長 中島 智也

求人のお知らせ

京都市左京区の健診センターで正社員の求人があります。マンモグラフィー認定必須。詳しくは京都府放射線技師会事務所までお問い合わせください。

▶ 12 月以降の京放技活動

平成 30 年

- | | | |
|-------------|------------------------------------|-----------|
| 1 月 7・8 日 | 業務拡大に伴う統一講習会 | 京都第二赤十字病院 |
| 1 月 21 日(日) | 近畿地域診療放射線技師会囲碁大会参加 | 兵庫県県民会館 |
| 2 月 4 日(日) | 平成 29 年度京都府放射線技師会府民公開講座・第 569 回研修会 | 京都ホテルオークラ |

▶ 12 月以降の京都府以外での近隣講習会

- | | | |
|-------------|--------------------------|------------------------|
| 12 月 2・3 日 | 業務拡大に伴う統一講習会 | CIVI 北梅田研修センター・済生会中津病院 |
| | 業務拡大に伴う統一講習会 | 奈良県立医科大学 |
| 平成 30 年 | | |
| 2 月 11 日(日) | 平成 29 年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 | 神戸大学医学部附属病院 |
| 2 月 17・18 日 | 業務拡大に伴う統一講習会 | 和歌山県紀南病院 |

会 員 異 動

【新卒入会】 2 名

三宅 悠司 舞鶴共済病院 (両丹 2)

他 1 名

【訃報】

渡里 弘 (京都九条病院) の御尊父 平成 29 年 10 月 20 日御逝去

松元 誠 (松下記念病院) の御母堂 平成 29 年 10 月 23 日御逝去

ご冥福をお祈りします。合掌。